

先読み！ IT×ビジネス講座 chatGPT対話型AIが生み出す未来

令和5年5月28日読了



寺前総合法律事務所

弁護士・中小企業診断士 岡崎 教行

自己紹介

寺前総合法律事務所 弁護士・中小企業診断士 岡崎 教行

【学歴・職歴】

平成12年 3月 法政大学法学部卒業
平成13年10月 司法試験第二次試験合格
平成14年 3月 法政大学大学院卒業
平成15年10月 弁護士登録（第一東京弁護士会）
平成27年 1月 中小企業診断士試験合格
平成29年10月 中小企業診断士登録（城西支部）
平成31年 2月 寺前総合法律事務所（パート
ナー）

【専門】

労働法務。取り扱う事件、相談の9割程度が労働問題。

【著書】

三訂版 使用者側弁護士からみた「標準 中小企業のモデル就業規則策
定マニュアル」（日本法令・共著）

社労士のためのわかりやすい補佐人制度の解説（労働新聞社）

Q&Aとストーリーで学ぶコロナ恐慌後も生き残るための労働条件変更・
人員整理の実務（日本法令・共著）

就業規則からみるメンタル不調の予防と対応－規定整備のポイント－
（新日本法規・共著）

基本がわかる！人事労務管理のチェックリスト（労務行政）

個人契約型社員制度と就業規則・契約書作成の実務（日本法令・共著）

【BLOG】

労働法務弁護士、がむしゃらに生きる365日

<http://okazakinoriyuki.com/>



第1章

ブレイクスルーを起こした対話型AI

GPTとは、事前学習モデル

Generative : 生成

Pre-trained : 事前学習

Transformer : AIの学習モデルの1つ

chatGPTの凄いところは、1往復で終わりではなくて、連続して会話ができること

日本語と英語では、英語の方が返事が返ってくるまでのスピードが速い

第2章

chatGPTと会話してみよう

個人名や住所などのプライバシーに関わる情報や社外秘のプロジェクトの情報などの入力は避けるべき。

特定の入力内容を削除することはできないと心えるべし

他の生成AIとの連携も可能。chatGPTで「Midjourneyで空飛ぶ猫のデジタルアートを描くためのプロンプトを作って」などと指示してプロンプトを出力し、それをMidjpurneyで入力するという使い方が可能。

第3章

対話型AIはどんな技術で成り立っている？

文章生成AIは、大量の学習データを処理して、「それらしい答え」を確率的に出しているに過ぎない。

第4章

ビジネス活用の事例とポテンシャル

元になる情報がある程度用意されたものを形式の決まった文章の形にする「膨らませる」用途

アイデアを新たに生み出したり、AIを壁打ち相手にしたりするような感覚で使う「発散する」用途の2用途あり。

第5章

Generative AIとの付き合い方

一旦全部疑ってみる。あくまでもサポートツール、アシスタントツールとして捉えよう

文章の場合、画像に比べると学習元の個人のテイストのようなものが生成結果に反映されにくい傾向はある

定型的な文書を作る作業は、比較的置き換えられるだろう
AIで完成形のものを作るというよりは、その前の段階の作業を簡略化するために使う。補助的ツールとしていかにうまく活用するかが大事